

2021（令和3）年度 釧路都心部まちづくり計画の推進に向けた業務内容について

1. 釧路都心部まちづくり計画の市民説明会の開催

2020年度末に策定した釧路都心部まちづくり計画について、市民の理解をより深めるため、説明会を開催する。

開催日	開催会場	開催時間	定員	主な想定地区
7/29（木）	中部地区コミュニティセンター コアかがやき	午後2:00 ～ 午後4:00	50名	中部地区
8/ 3（火）	東部地区コミュニティセンター コア大空		50名	東部地区
8/ 5（木）	鳥取コミュニティセンター コア鳥取	午後4:00	30名	西部地区
8/10（火）	釧路市観光国際交流センター		40名	都心部・中部地区

※新型コロナ対策として、定員は、各施設が定めている収容定員の50%程度とし、予約制とする。
※参加希望者が多い場合は、追加開催を検討すると共に、少人数のグループ(例えば学生や子育てサークル等)については、オンラインによる説明会の実施を検討する。

2. 業務委託の発注状況など

(1) 釧路都心部まちづくり計画(事業構想編) 推進検討業務委託

(履行期間：R 3年4月13日～R 4年3月25日)

【主な業務目的】

本業務は、上記計画の推進を図るため、釧路駅周辺及び北大通沿道における交通実態調査を実施し、交通結節機能(バスターミナルやタクシープールなど)の配置や規模を検討するほか、ウォーカブル化(歩きやすく、居心地のよい道路空間の形成)を図る北大通などの再構築に向けた検討を行う。

【主な業務内容】

① 釧路駅周辺及び北大通沿道における交通実態調査

調査項目	調査目的	調査日時(予定)
a.交差点方向別自動車交通量調査	駅周辺の将来交通ネットワークについて、駅前交差点でスムーズに自動車が通行できるかどうか、その妥当性を検証するための基礎材料とする。	R3.10 R4. 1(冬) 2回実施
b.駅前タクシー利用実態調査	タクシー乗降場、プールの必要規模を検証するための基礎材料とし、交通結節点の整備方針の検討に反映する。	R3.10 R4.1(冬) 2回実施
c.駅前一般車送迎利用等実態調査	送迎を目的とした一般車の乗降場の必要規模を検証するための基礎材料とし、交通結節点の整備方針の検討に反映する。	R3.10 R4.1(冬) 2回実施

右上の表に続く

調査項目	調査目的	調査日時(予定)
d.駅前駐輪場利用実態調査	駐輪場の必要規模を検証するための基礎材料とし、交通結節点の整備方針の検討に反映する。	R3.10
e.北大通停車利用実態調査	北大通の停車利用の要因(荷捌き・買物利用等)を把握し、北大通の沿道アクセススペースの利活用に関する検討など、道路空間再構築の検討に反映する。	R3.10
f.北大通沿道駐車場利用実態調査	北大通の沿道にある駐車場の利用状況と、北大通の停車利用の関係を把握するため、上記 e の調査と一体で実施し、道路空間再構築の検討に反映する。	R3.10

② 釧路駅周辺の整備方針の検討

a.交通結節機能の必要規模 などの検討

①の調査で把握する、各交通のピーク需要や鉄道高架後の将来交通需要の推定を踏まえた上で、タクシー乗降場やタクシープール、バスターミナル、自家用車乗降場、駐輪場の必要規模などを算定する。

b.駅周辺道路網(交差道路、交通結節機能へのアクセス道路等)の検討

①の調査で把握する、駅周辺交差点の交通状況を踏まえ、交通をスムーズに流すための検討課題と対応方策(特にバス専用道路と駅前通の交差点)を整理する。

c.北大通の再構築 に向けた検討

①の調査で把握する、北大通の停車利用実態などを踏まえ、道路空間の再構築に係る道路断面の構成を検討すると共に、既存駐車場への出入りや荷捌き対応の検討を行う。

(2) 土地区画整理事業基本調査業務委託 (履行期間：R 3年5月25日～R 4年3月18日)

【主な業務目的】

本業務は、土地区画整理事業の概略設計を実施する前の基礎的な調査として、本計画で示した土地区画整理の範囲における、現地踏査や実態調査を行う。

【主な業務内容】

- ・調査地区の設定
- ・現地踏査
- ・実態調査
- ・市街地環境評価
- ・整備課題の設定と前提条件の整理
- など

※詳細については、6/14の週に受託者である「日本測地設計(株)」と、第一回目の打合せを行い、決定する見込み。